

# 私達は犬が穏やかに過ごし、 飼い主様が安心して頼れる 「セカンドハウス」であり続けたい



## 渡邊 英毅 有限会社礎 代表取締役

当社は平成17年よりペットホテルやトリミングサロン、ペット用品販売といったペット関連事業を行っています。運営するペットホテル「セカンドハウス」は、室内のプレイルームや屋外ドッグランで遊びながら過ごす事のできるホテルで、犬が楽しくお泊りができると好評を頂いています。他社では高齢などの理由でペット施設の利用を断られることが多いのですが、当社では年齢制限をなくし、事前に飼い主様と丁寧なカウンセリングを行うことで不安を取り除き、多くの高齢犬にも利用して頂いています。

私達は「人とペットが共に幸せになるために何が出来るのか」を常に考えて取り組んでいます。最近では犬の高齢化を心配する飼い主様の声を反映して、終身お預かりサービスとして「老犬ホーム」を設立し、老犬を優先的に受け入れることで無用な殺処分を減らす取り組みも行っています。本事業を活かし、今後も愛犬にとって“2つ目の家”と思えるような暖かくて頼りになる施設として、社会のために役立っていきたくです。

## 有限会社 礎

### 会社概要

〒501-6232 岐阜県羽島市竹鼻町狐穴392-2  
TEL.058-393-0236 FAX.058-393-0236

業 種 その他の生活関連サービス業 設 立 平成17年4月 資 本 金 300万円 従業員数 5人

事業内容 ペットホテル、トリミングサロン、  
老犬ホーム運営

U R L <https://s-house526.com/>

E-Mail [info@s-house526.com](mailto:info@s-house526.com)

## 事業計画名

革新的サービス(小規模型) 設備投資

# 獣医師との連携による高レベルの老犬サービスの創出

## ①課題

- リハビリプログラムの作成
- 健康管理・維持のためのシステム作り
- 新サービスの創出

## ②取組

- リハビリに必要な器具の導入
- 健康管理に必要な器具の導入
- 獣医師との連携

## ③成果

- 最適なリハビリプログラムの確立
- 健康管理システム体制の構築
- 老犬でも利用できるカートセラピーの確立
- 高レベルの老犬サービス創出

## 取組への経緯

20年程前からのペットブームにより増加したペット達はシニア期に入り、人間と同じく高齢化社会となっている。今後もこの傾向は加速していくが、多くの飼い主がペットの健康寿命を伸ばしたいと思っている一方で、ケアに対する知識が十分ではなく、また飼い主自身の高齢化で飼育が困難になるという問題が顕在化している。飼育が困難となった場合には、新しい飼い主に引き取ってもらうことになるが、引き取り手がない場合は殺処分されることもあり、飼い主の望む選択肢ではないのが現状である。

そこでペット関連事業を行う当社では、ペット市場において問題視されている「犬の高齢化問題と殺処分」に対し、獣医師と連携することで業界に先駆けて「老犬ホーム」サービスを創出し、業界の問題解決による飼い主と愛犬の幸せの実現を目指し、本事業に取り組んだ。



今回導入した犬用車椅子

## 事業概要

リハビリに必要な器具（バランスボール・犬用車椅子等を導入）し、各々の犬に合ったリハビリプログラムを作成した。具体的には、車椅子を使用した「カートセラピー」や「バランスボールトレーニング」等の新たなプログラムを開発し、実際に老犬で試行・検証した。

老犬は、年齢的な側面から、人間と同じく日々の細やかな健康管理が必要であり、この健康管理に必要な3器具（診察台・心拍等計測機器・ボックスドライヤー）を導入し、健康管理・健康維持についてシステム作りを行った。

獣医師指導のもと、診察機器の試験運用を行い、心拍数や呼吸数など犬の健康状態を測る数値を問題なく計測できる事を確認し、これを管理するためのカルテを作成した。

また、健康維持のための温浴後に、ボックスドライヤーの中で体力の少ない老犬が無理なく身体を乾かせることを検証した。

そして、既存のドッグランを活用したカートセラピーを老犬でも利用できるように犬のサイズに合わせた車イスを導入し、実際に車椅子を装着した状態で使用可能であることを検証した。



今回導入した体重計付き動物診察台



今回導入したボックスドライヤー

## 取組成果活用状況

導入したリハビリ器具を用いて開発した各種プログラムについて、実際に老犬に実施したところ、それぞれのプログラムにおいて十分な運動効果があり、体と心のケアに繋がっていることが確認できた。

また、健康管理に必要な体重・心拍・呼吸等を計測できる機器を揃えたことで、獣医師が定期的にデータをチェックし、犬の健康状態を把握することが可能となった。さらに、健康維持のために行っている温浴について、温浴後にボックスドライヤーを使用することで、犬に負担を与えることなく身体を乾かすことができるため、老犬に対しても定期的に行うことが可能となった。

そして、老犬や足腰の弱った犬が車イスを装着した状態で、既存のドッグランを使用したカートセラピーに安全に取り組むことが可能となった。

本事業の取り組みによって、老犬が穏やかな老後を健やかに

過ごし、飼い主が安心して利用できるサービスを提供する体制が整った。現在は、既存のペットホテルやグルーミング業務を軸に「老犬ケア」オプションを設けると共に、終生お預かりサービスである「老犬ホーム」を設立し、「老犬」に特化した業界内では類を見ない新サービスの展開を図っている。この新サービスは、少しずつではあるが利用者も増えてきている。

今後は、これまで行ってきた殺処分対象となった犬の優先的な保護活動に加え、犬の幼稚園の開設や、地域と連携したペット防災啓発活動などのペット保護事業にも注力し、飼い主と愛犬のさらなる幸せを追求していく。



ドッグランでリハビリを行う犬たち